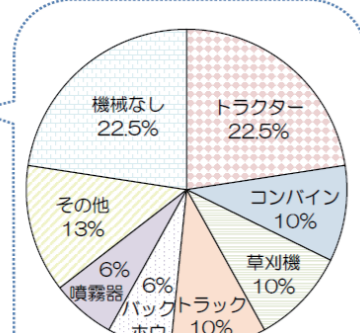
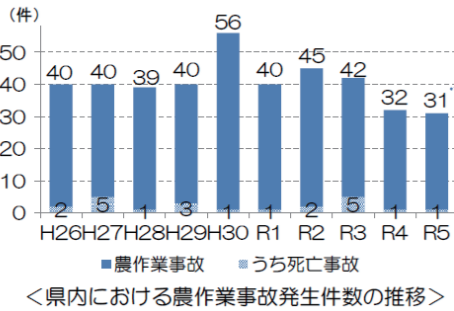


声かけ合いながらみんなで事故防止!

遭わない! 起こさない! 農作業事故

県内の農作業事故発生状況 (R5年)

- ◆毎年、死亡事故を含む30件以上の事故が発生し、R5年は31件、うち死亡事故が1件でした。
- ◆R5年の農作業事故発生件数は過去10年で最少でした。
- ◆機械別ではトラクターによる事故が7件と最多でした。
- ◆農作業別では、ぼ場退出・移動および積込・運搬の事故がそれぞれ6件発生しました。
- ◆年代別では全体の約9割が60歳以上でした。



令和5年に発生した農作業事故の例

滋賀県みらいの農業振興課HPより抜粋

JAグループでは、農作業事故を未然に防止し、今後も引き続き安全に農作業を行えるよう、啓発動画を作成されています。農作業の前や複数人が集まる会議などにぜひご覧ください。

<https://social.ja-kyosai.or.jp/activity/culture/vr/> (JA共済の地域貢献活動 ちいきのきずな)

また、農林水産省も同様に農作業安全の啓発動画を公開されていますのでご紹介します。

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/sagyou_anzen/e-learning.html (農林水産省HP オンライン作業安全教材)

介護事業所の健康経営!!

「抱え上げない介護」

- ケアする人よし!
- ケアを受ける人よし!
- 地域よし!

介護事業所において、「腰痛を起こさない環境づくり=リスクマネジメント」は、従業員がいきいきと働くための大きな課題です。「抱え上げない介護」は施設・在宅を問わず、みんなに優しい「抱え上げない、持ち上げない、引きずらない」介護の取組の総称です。身体に負担のかかるケアの見直しと、安全で快適に働くことができる職場づくりに組織全体で取り組むことにより介護現場の働き方を変えます!



先進的に取り組んでいる高知県が「高知家」として作成されている「ノーリフティングってなあに?～だれでもわかるノーリフティングの説明～」動画を紹介します。

～高知家まるごとノーリフティング～では、「労働安全」「介護の質向上」「業務改善」「感染予防」の4つの視点からノーリフティングケアを推進されています。

<https://www.youtube.com/watch?v=Uc519ITDMzA>



協会けんぽ滋賀支部に加入の事業所様へ

健康アクション宣言にエントリーしましょう!

今求められるのは「健康や働き方に配慮している会社」です。対外的イメージアップのためにも、事業所全体で健康づくりを始めましょう! 協会けんぽ滋賀支部では、健康づくりに取り組みやすいよう、「健康アクション宣言」を通して様々なサポートを行っています。

STEP 01

エントリーシートを記入

STEP 02

滋賀支部へ提出

STEP 03

健康づくりをスタート!

「健康アクション宣言」の詳細はこちら! エントリーシートもダウンロードいただけます。

滋賀支部の様々な健康づくりのサポートが無料で受けられます!

全国健康保険協会 滋賀支部 協会けんぽ ☎077-522-1099(代表)

勤務間インターバルって何?!

「勤務間インターバル」は、勤務終了後、一定時間以上の「休息時間」を設けることで、働く方の生活時間や睡眠時間を確保することが事業主の努力義務として規定されています。一定の休息時間を確保することで、労働者が十分な生活時間や睡眠時間を確保することができ、ワーク・ライフ・バランスを保ちながら働き続けることができるようになると考えられています。「勤務間インターバル」は、働き方の見直しのための他の取組みとあわせて実施することで一層効果が上がると考えられ、健康やワーク・ライフ・バランスの確保策として今後の動向が注目されています。

ご相談は 滋賀労働局 雇用環境・均等室まで ☎077-523-1190

厚生労働省

治療と仕事の両立支援とは…

病気を抱えながらも働く意欲のある労働者が、仕事を理由として治療機会を逃すことなく、また、治療を理由として仕事の継続を妨げられることなく、適切な治療を受けながら働き続けられる社会を目指す取り組みを「治療と仕事の両立支援」と言います。事業者の皆様、病気になることも働ける職場の実現に向け、取組をお願いいたします。

事業者のメリット

- 労働者の「健康確保」の推進
- 継続的な人材の確保・定着
- 労働者のモチベーション・生産性の向上
- 「健康経営」「社会的責任」の実現
- ワークライフバランスの推進など

滋賀産業保健総合支援センター TEL 077-510-0770

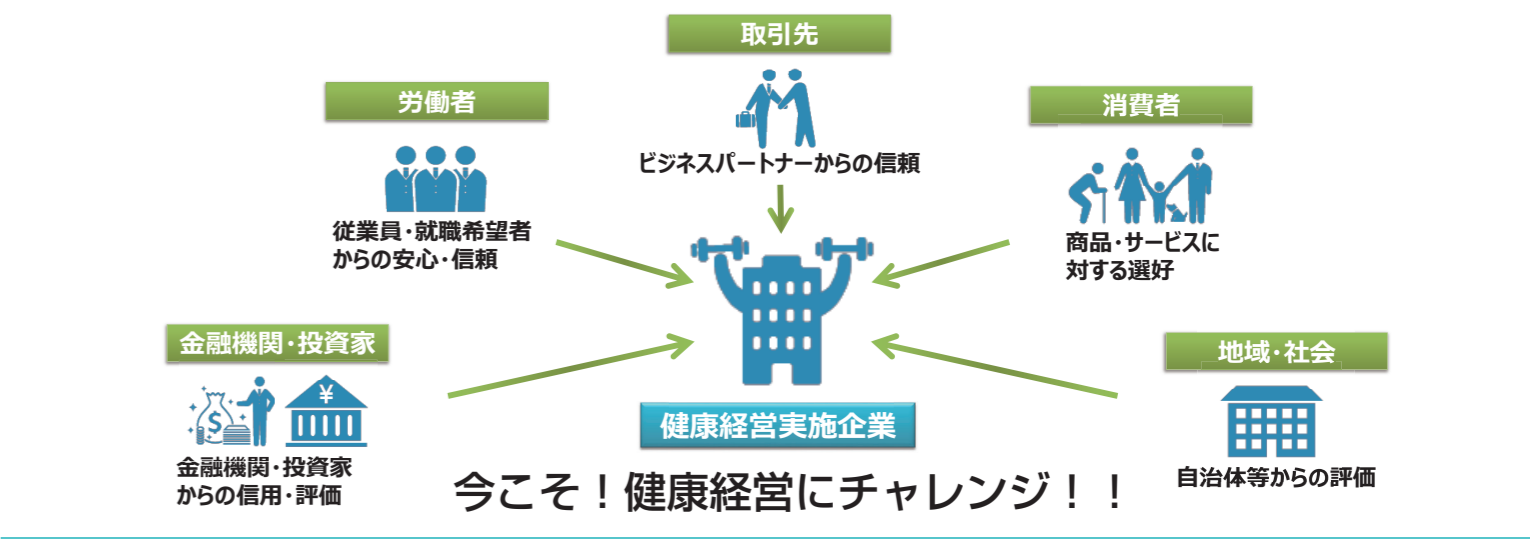
滋賀県内の中小企業、働き盛り世代を支えるための窓口

種類	機関
労働関係法令に関すること (産業安全・労働衛生・労災防止に関すること等)	滋賀労働局健康安全課(077-522-6650) 労働基準監督署: 大津、東近江、彦根
経営上の課題に関する相談 (金融・税務・経営・労務等)	滋賀県商工会議所連合会(7か所) https://shigacci.com/ お近くの商工会議所・商工会へお問い合わせください。 滋賀県商工会連合会(18か所) https://www.shigasci.net/
事業協同組合等を通じた中小企業・小規模事業者の支援	滋賀県中小企業団体中央会(077-511-1430)
産業保健関係者に対する相談、研修、情報提供 小規模事業所への支援	滋賀産業保健総合支援センター(077-510-0770) 地域産業保健センター: 大津、近江八幡、彦根、湖北
健康宣言に関すること 事業所における健診・がん検診・保健指導等	医療保険者(協会けんぽ、健保組合等) 保険証に記載される加入健康保険にお問い合わせください
働き方改革関連法に関する相談、労働時間管理等	滋賀働き方改革推進支援センター ※土日祝日行政の休日を除く 厚生労働省委託事業(0120-100-227) 9:00~17:00
事業所の自主的な安全衛生活動の具体的な支援	中央労働災害防止協会 詳しくは[中防災]検索 近畿安全衛生サービスセンター(06-6448-3450)
こころの不調に対する個別相談 (働く方、ご家族、事業者の方等)	こころの耳(働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト): 厚生労働省 「こころのサポートしが」LINE相談: 滋賀県
地域における健康づくり・生活習慣病予防 (健康教室・健診等) に関すること	・滋賀県健康医療福祉部健康しが推進課(077-528-3651) ・滋賀県健康福祉事務所(保健所): 6か所 ・大津市保健所保健総務課地域保健推進室(077-522-6755) ・各市町健康づくり担当課

職場の健康づくり 取り組み事例集 Case Studies



職場の健康が企業・地域の活力を生む 「企業よし! 社員よし! 地域よし!」



滋賀県「健康いきいき21」地域・職域連携推進会議
 滋賀県医師会、滋賀県歯科医師会、滋賀県薬剤師会、滋賀県栄養士会、滋賀県健康推進員団体連絡協議会、滋賀県産業保健総合支援センター、滋賀県商工会議所連合会、滋賀県商工会連合会、滋賀県中小企業団体中央会、健康保険組合連合会滋賀連合会、全国健康保険協会滋賀支部、滋賀県後期高齢者医療広域連合、立命館大学、株式会社平和堂、滋賀労働局、滋賀県市町保健師協議会、滋賀県保健所長会、滋賀県(順不同)

健康寿命延伸プロジェクト表彰事業所

地域や企業の優良な取組事例を発掘し、県民に情報発信することにより、健康づくりに対する県民の意識を高め、健康寿命の延伸を目指していくことを目的とし実施している。

最優秀賞

がん検診の受診率向上を含めて大きな成果をあげている健康経営への取組

ワコール流通株式会社

業種	倉庫業	従業員数	484人 (R5.4時点)
設立年月	2000年4月	所在地	守山市千代町1-1



活動・取組の目的

社員の健康・生産性・エンゲージメントの向上を実現し経営戦略の土台となる「Well-beingの実現」を目指します

「社員の健康は持続的成長のための重要な資産」の基本方針のもと、健康経営を戦略的に推進

活動・取組の概要

GENKI計画とワコール健康宣言にもとづいて取組を実施

①オリジナル体操の「ワコタイ」を毎朝実施
WACOAL GENKI TAISO

②ウォーキングイベントの「みんなで歩活」開催

③健康イベントの開催
事業所内に「ヘルスアップルーム」

④婦人科検診
受診率向上に向けて

ワコールの乳がん検診車AIOで乳がん検診を、もっと気軽に。快適に。
グループ会社所有の乳がん検診バス AIO

1 財布要らず
個人建て替え無し
健保直接支払い

2 手間要らず
会社で受診

3 休み要らず
就業時間中受診

〈GENKI計画の具体的な行動目標〉

- 歩行または同程度の活動を1時間以上する
- タバコを吸わない人を90%以上にする
- 1週間のうち1日でも飲酒しない日をつくる
- 1週間のうち1日でも間食をやめる
- 十分な睡眠をとることができる

(2020年~2025年)

たとえばがんを罹患しても仕事をしながら治療できるような環境を整えることが健康経営の大切なミッション

効果・成果

- 運動習慣の定着
オリジナル体操を毎朝(就業時間内)に全員で実施
ウォーキングイベント(年2回)の参加率 60%
- 婦人科検診 受診率の向上
乳がん検診 83%、子宮がん検診 58%

今後の目標・展望

- 社員自らが健康につながる生活習慣を見直す行動変容に取り組む(減量、運動量UP、間食を控える、休肝日を増やす、卒煙)
- 社員自らが健康に関する情報を理解し、活用する力を身に付ける
- 女性の健康課題に取り組む
- 「生産性」と「エンゲージメント」の高い組織を目指す

健康経営成功へのプロセス

●取り組むことになったきっかけは？

社員の健康は会社が成長するための重要な財産だと考え、健康経営委員会を発足したこと。

●取り組み始めた時の従業員の反応は？

健康経営の推進に大きな関心が寄せられた。

●取り組む中で苦労したことは？

取組の意義、事業目的について従業員への周知徹底

●取り組む中でうまくいったことは？

社員の健康意識が高まっていること。

●事業所として取り組むために必要なことは？

健康経営のプロセスのPDCAを回すこと。適切なKPIを設定すること。

今後に向けての意気込みを

社員をはじめ、当社に関わるすべての方の生涯にわたる「Well-beingの実現」を目指します。



特別賞

第一工業製薬株式会社 滋賀工場

業種	化学	従業員数	584人 (R5.3末時点)
設立年月	1909年(創業)	所在地	東近江市五個荘日吉427(滋賀工場)

活動・取組の目的

従業員の健康を維持・増進することで会社の生産性を向上ひいては企業価値の向上をめざす。

活動・取組の概要

健康アプリ導入、e-ラーニング、卒煙プロジェクト、ウォーキングイベント開催、保健指導、社内レクリエーション、メンタルヘルス教育、腹囲削減(オリジナルメジャー配布)、オリジナル体操 など



健康宣言

『第一工業製薬は、従業員を会社の財産と考え、従業員の健康の維持向上に努めます。』

第一工業製薬株式会社
代表取締役社長 山路 直貴

効果・成果

健康経営銘柄に5年連続 DBJ健康経営格付最高ランクを取得

◇健康課題に目標値を設定し種々の取り組みを実施
腹囲基準を超える者の割合
2021年29.2%→現在値28.8%(2022年)
喫煙者の割合
2021年20.5%→現在値19.2%(2022年)



定期的実施しているアプリを利用したウォーキングイベントや、毎朝のラジオ体操、毎日15時に取り組むオリジナル体操(DKS EXERCISE)により、40歳以上の運動習慣率が2019年の20.3%から2022年には24.5%にアップした。それに伴い健康管理目標に設定している、腹囲基準を超える者の割合が2019年の30.7%から2022年度には28.8%と改善傾向にある。

今後の目標・展望

2024年目標
ワークエンゲージメント偏差値51達成、腹囲基準超え25.0%以下
メンタルヘルス休職者の発生率0.2%以下を維持、喫煙者の割合11.4%以下など

健康経営成功へのプロセス

●取り組むことになったきっかけは？

2017年9月28日に、トップ自ら、健康宣言を社内外に発表したことを皮切りに、本格的に健康経営の取組を開始。

●取り組み始めた時の従業員の反応は？

健康は自分事として関心は高かったと思う。

●取り組む中で苦労したことは？

健康無関心層に対するアプローチは苦労している。
オリジナル体操は声掛けを行い多くの人が取り組む様になった。

●取り組む中でうまくいったことは？

従業員の意識は変化してきたと思う。色々な取り組みに対しても積極的に参加いただけている。

●事業所として取り組むために必要なことは？

工場として、工場長はじめ管理職が積極的な参画と健康セミナーやイベントの参加率を向上させるための周知徹底などを行っている。

今後に向けての意気込みを

引き続き、従業員の健康の維持向上のために一人一人の健康づくりを支援します。



特別賞

社会福祉法人 青い鳥

業種	社会福祉業	従業員数	124人 (R5.9.1時点)
設立年月	1963年3月	所在地	彦根市高宮町2671番地



活動・取組の目的

- 敷地内全面禁煙(産業医と連携)
- 職員対象にインフルエンザ予防接種の実施
- 病気の補償制度ならびに医療相談窓口の案内(業務災害総合保険への加入)

活動・取組の概要

- 喫煙者に向けて生涯禁煙の強要ではないことを明示。まずは喫煙者の理解を得ることを最優先に取り組んだ。産業医の10ヶ月の計画的な喫煙者講習を実施。全面禁煙開始の時期は喫煙者の意見により決定→彦根市「ひこね元気計画21」に登録
- シフト勤務の職員全員が就業時間内インフルエンザ予防接種を可能にした。(接種費用の1/3を法人からの補助制度あり。)
- 令和2年5月から職員のための総合保険へ加入。



効果・成果

- 安全衛生委員会としての大きな役目を果たせた。現在では学園祭の時に、「ひこね元気計画21」に登録した際に彦根市から頂いた「敷地内禁煙にご協力をお願いします。」のポスターを掲示することで、ご来園いただく地域のみなさんにも安心してお越しいただけるメッセージが発信できている。
- 個人予約が不要、就業時間内インフルエンザ予防接種のため職員接種率100%。
- 個人加入の生命保険料やプランの見直しの良い機会になり、家計の負担が軽くなった。



今後の目標・展望

健康経営優良法人認定申請にもチャレンジしたい。

健康経営成功へのプロセス

●取り組むことになったきっかけは？

平成24年8月に産業医から敷地内禁煙の提案を受け「受動喫煙対策ガイドライン」を参考に着手。

●取り組み始めた時の従業員の反応は？

喫煙者からの反対があり、非喫煙者からは、敷地内禁煙を実現したいと賛成派の2つに別れた。

●取り組む中で従業員の反応は？

喫煙者側から喫煙率を調べてほしいとの意見が出て、調べたところ、1割程度と意外にも低すぎる結果に、喫煙者から「どのように進めるのか?どのような予定で進めるのか?話が聞きたい」と、歩み寄ってくださることができた。

●取り組む中で苦労したことは？

喫煙者の「賛同を得られるまで」ということで、あえて具体的な期限を設けずに、安全衛生委員会の時間を利用して、産業医の先生自ら喫煙者講習を何度も開催。少しづつですが、敷地内禁煙についての理解と協力につながり、結果として10ヶ月にわたる話し合いとなった。

今後に向けての意気込みを

今回の受賞のおかげで職員一同、自信をもってこれからも継続していくことができます。現在生活習慣病予防に向けて、「食習慣の改善」に取り組まれました。がんばります!

